【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成30年5月31日(2018.5.31)

【公開番号】特開2016-204509(P2016-204509A)
【公開日】平成28年12月8日(2016.12.8)
【年通号数】公開・登録公報2016-067
【出願番号】特願2015-87468(P2015-87468)
【国際特許分類】
*Ｃ０９Ｄ 175/04 (2006.01)*
*Ｃ０９Ｄ 7/40 (2018.01)*
*Ｃ０９Ｄ 5/02 (2006.01)*
*Ｂ３２Ｂ 27/18 (2006.01)*
*Ｂ３２Ｂ 27/40 (2006.01)*
*Ｆ１６Ｊ 15/16 (2006.01)*
*Ｆ１６Ｃ 33/38 (2006.01)*
*Ｆ１６Ｃ 33/46 (2006.01)*
【ＦＩ】
Ｃ０９Ｄ 175/04
Ｃ０９Ｄ 7/12
Ｃ０９Ｄ 5/02
Ｂ３２Ｂ 27/18 Ｚ
Ｂ３２Ｂ 27/40
Ｆ１６Ｊ 15/16 Ｚ
Ｆ１６Ｃ 33/38
Ｆ１６Ｃ 33/46

【手続補正書】
【提出日】平成30年4月10日(2018.4.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
本発明の目的は、シラノール変性ポリウレタン樹脂を主成分とする水系コーティング剤であって、低摩擦特性を維持したまま、摩耗量の抑制、耐熱性の向上を図ることのできる水系コーティング剤を提供することにある。
１記載の樹脂ゴム複合体。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２４】
かかるシラン化合物としては、例えばγ-グリシドキシプロピルトリメトキシシラン、γ-グリシドキシプロピルトリエトキシシラン、γ-グリシドキシプロピルトリプロポキシシラン、γ-グリシドキシプロピルメチルジメトキシシラン、γ-グリシドキシプロピルメチルジエトキシシラン、γ-グリシドキシプロピルメチルジプロポキシシラン(以上シラン化合物A)、γ-メタクリロキシプロピルトリメトキシシラン、γ-メタクリロキシプロピル

トリエトキシシラン、γ-メタクリロキシプロピルトリプロポキシシラン、γ-メタクリロキシプロピルメチルジメトキシシラン、γ-メタクリロキシプロピルメチルジエトキシシラン、γ-メタクリロキシプロピルメチルジプロポキシシラン(以上シラン化合物B)、3-アクリロキシプロピルメチルジメトキシシラン、3-アクリロキシプロピルメチルジエトキシシラン、3-アクリロキシプロピルトリエトキシシラン(以上シラン化合物C)、3-アミノプロピルトリメトキシシラン、3-アミノプロピルトリエトキシシラン(以上シラン化合物D)、N-2-(アミノエチル)-3-アミノプロピルメチルジメトキシシラン、N-2-(アミノエチル)-3-アミノプロピルトリメトキシシラン、N-2-(アミノエチル)-3-アミノプロピルトリエトキシシラン、3-(2-アミノエチル)アミノプロピルメチルジメトキシシラン(以上シラン化合物E)などが挙げられ、好ましくはγ-グリシドキシプロピルトリメトキシシラン、γ-グリシドキシプロピルメチルジメトキシシラン、γ-メタクリロキシプロピルトリメトキシシラン、γ-メタクリロキシプロピルメチルジメトキシシラン等が用いられる。

【手続補正３】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項２】
ポリウレタン樹脂水性分散液が、シラノール変性ポリウレタン樹脂水性分散液とヒドラジドおよびカルボニル基含有ポリウレタン樹脂水性分散液との混合物である請求項１記載の水系コーティング剤。